

# 令和4年度 第3回学校運営協議会抄録

日時:令和5年3月2日(木)18:00～ 場所:本校 会議室

出席者:大岩((株)トウソーイング 社員)、熊谷(岡山大学教授)、白髭(玉野備南高校長)、角田(後援会長)、鶴田(社会福祉法人四ツ葉会職員)、藤原(市商工観光課参事)、藤原(保護者代表)、東(玉野SDGs みらいづくりセンター代表)、三澤(日比中学校長)、山田(市教委学校教育課主任)、以上。  
【事務局】:教頭、事務長、教務課長、普通科長、教員2名

## 1. 開会 (校長挨拶)

昨日、角田協議会長の臨席の下、無事に卒業式を終え、生徒たちは良い顔をして巣立ってゆきました。その様子は学校ブログにも掲載しています。今回の運営協議会の記事が今年度200回目の更新になります。本日は学校評価と3・4修制の在り方についての議論をお願いいたします。なお、本校の今後の在り方については、8月末までに教育弘済会の研究論文として提出する予定です。



(熊谷委員は研究室からリモートで出席)

## 2. 学校説明と協議

### (1)教育活動の概説と学校評価アンケートの説明と協議

学校経営目標(抜粋)	Aの割合	Bの割合	総合評価
学ぼうとする態度や生きていくために必要な学力の育成	63.6%	36.3%	A
マナーやルールを守り、他者を大切にできる人間力の涵養	18.2%	81.8%	B
自立する態度を育て地域と連携したキャリア教育の推進	100%	0%	A
実態把握と通級等の特別支援教育や教育相談の推進	100%	0%	A
外部関係機関と密接に連携しながらの人権教育の推進	45.5%	54.5%	B

今年度の取組について説明があった後、評価について協議が行われ、上の表の「総合評価」となった。

### (2)4修制移行に向けたアンケート調査と学校視察の報告

アンケート調査は、学校運営協議会委員、保護者、適応教室指導員、在籍生徒の計64人から回答を得た。その結果、現時点では以下の3点の傾向が見られた。

○3年間で卒業する現行の授業(1日6時間の授業)パターンには、ニーズがある。

○4年間の卒業(1日4時間の授業)を基本としながら、3年間でも卒業できる授業パターンにはほぼ半数のニーズがある。今年度の卒業生に多い傾向があった。

○在校生の中には、4年卒業がよいと考える生徒もいる。(多様な生徒が入学しているからか?)

1月中旬に信州方面の定時制高校3校の学校視察をおこなった。学校の特徴は次のとおりである。

市立阿木高校	3修か4修かを入学後に選択、4修生は2・3年時に3修に移行することも可能。
OIDE 長姫高校	4修制が基本だが、週3日の授業で3年間での卒業も可能。
木曾青峰高校	4修制が基本だが、通信制との併修による単位取得で3年間での卒業も可能。

### (3)3・4修制に関わる現時点での分析

アンケート結果から、「3年で卒業したい」というニーズがあるため、4年卒業のみに移行していくのは難しい。多様な生徒が入学してくる中で、現在の3年卒業ベースではなく、午後からの登校で学び直しができる学校を基本とするも、3年卒業を目指すことも可能という形が望ましいのではないかと。

#### (3)についての主な協議内容(一部を抜粋)

- 【委員 A】アンケート調査、学校視察をしてニーズ把握をしたよくわかる資料だ。(3)の分析のとおり、すぐに移行は難しい。4年卒業を基本としながらも3年間でも卒業できるという方向性は納得できるものだ。夢破れた子に回復力を持たせるには、最後までやり抜く力(Grit)も必要だ。これは小さな成功体験の積み重ねによって後天的に身に付いていく。この成功体験のプロセスを教育活動に取り入れてはどうか。アプリで先生方の負担軽減にもなる部分もあるが検討してはどうか。
- 【委員 B】多様なニーズに対応できるように3・4修制が選べるようにしてほしい。どちらがベースになっても途中でリタイアしていく生徒が増えるようでは本末転倒。このあたりの調査も可能ならしていただきたい。デジタルの使用、通信制の併修等、自分で学べる環境の整備が必要でいきなりは難しい。デジタルの使用は課題もあり、登校して対面の授業をする今のスタイルを残してほしい。
- 【委員 C】高校は3年というイメージがある。中学生は保護者の意見に影響されるところがあるので、4年卒業のメリットを丁寧に説明する必要がある。早期離職の防止のため、卒業前の最後の一年を社会と交わる時間としてようにしてはどうか。自分で学ぶ通信制との併修はハードルが高い。
- 【委員 D】現行のスタイル(3年卒業ベースの1日6時間授業)で、玉野備南高校の先生方はきめ細かく指導してくださっているので、4年卒業よりは3年卒業のベースでお願いできたらと思う。中学生のころにつまずきの経験があるので、通信制を取り入れるのは難しいと思う。
- 【委員 E】よく調べた調査結果で参考になった。将来的に見直すのであれば、通う生徒の生活リズムを考えてすべきだ。親の立場では多様な生徒に対応してほしいので、一つのパターンに絞らないでほしい。現行のスタイルが特に問題とは思わない。備南は先生との関わりがあるので良い。
- 【委員 F】4修制でじっくり学べるのは良いが、先生方の負担は大きいのではないかと。今のように3修制でもきめ細かい指導をしてくださっているなら、先生方の負担も大きいと思う。玉野市教委にも人員を増やすことを要望してはどうか。先生方の負担がどのようになるかも調べてほしい。
- 【委員 G】3日間のインターンシップは少ない。せめて1週間は必要ではないか。庄内中の「だっぴ」のような社会人から仕事についての話を聞くような交流活動があっても良いと思う。熊谷先生から教えていただいた回復力(レジリエンス)の育成には、リアルな職業体験が必要ではないかと思う。
- 【委員 H】備南に夜間があった頃は4年制だった。昼間に来て授業を受けたら3年で卒業していたように思う。今の形になった経緯や4年制だった頃の備南高校の歴史も調べてみてはどうか。生徒が胸を張って就職して行くには、どの形になっても今以上に先生方の負担が増えると思う。
- 【委員 I】3卒なら他高校でもできる。全日制には通級はないが、個に応じた指導やインクルーシブ教育は導入されている。玉野に貢献する人材の輩出という本校の使命を考えた時、全国的な高卒者の早期離職傾向の課題を克服したい。不登校を経験した子どもたちには、回復力を養う時間が必要という考えからこの研究が始まった。4修制を基本にすれば、対人関係トレーニングや就労体験の時間確保が可能になる。持続可能な指導のために教員の業務負担という視点も考えたい。

### 3. 閉会 (角田学校運営協議会長挨拶)

今日出ました意見や指摘をまた学校で検討してください。時間を越えた熱心な御協議に感謝します。